



PENTARO

平成 29 年 11 月 24 日

～やけどには気を付けてください～

院長 三和 拓人

やけどをしたら・・・

水道水で冷やす



- ◆ 最低10分以上。20～30分を目安に
- ◆ 低温の冷やしすぎに注意(氷・保冷剤は過冷却の原因)

Q.冷やすとどんな効果がありますか？

- ◆ やけどの症状が進行するのを、くい止める事が出来ます
- ◆ やけどのあとが残りにくくなります
- ◆ やけどの痛みが和らぎます

症状に応じて、
受診すべきと判断したら



濡れタオルで 冷やしながらか来院

参考文献：Up To Date®・日本皮膚科学会・日本熱傷学会

まだ11月というのに「山間部では雪が降り10年ぶりにスキー場が11月に解禁」というニュースがやっていました。いよいよ寒さ本番ですが、寒くなると「やけど」の患者様が増えてきます。毎年の風物詩ですが今月はやけどについて述べていきたいと思います。

やけどをしたら、まずすぐに冷やすのはみんな来ています。が、その後どうしたらいいかわからない方が多いんですよ。とにかく冷やし続けることが大事です。

次に「傷跡は残りますか？」という質問がよくあるのですが、傷がキレイに早く治るためには次の事項が大事です。

傷がキレイに早く治るための4つのポイント

「wound bed preparation (WBP:創面環境調整)」「moist wound healing (MWH: 湿潤環境下療法)」等の最新の創傷治癒概念を、わかりやすくまとめてみました。

最初に異物の除去を

- 傷口に異物があると治りが悪いです。受傷時、治癒過程時に洗ってください。

感染しないように

- 細菌感染をしていると治りが悪いどころか悪化の可能性も。患部の消毒は確かに殺菌作用はありますが正常な皮膚の細胞をも傷つけてしまうため、明らかな感染徴候が無い限りお勧めできません。傷口の洗浄、抗生物質外用にて対応していきましょう。

浸出液を含んだ潤いは大事ですよ

- 浸出液には傷を治す物質がいっぱい含まれてます。乾燥をさせてはせっかくの浸出液がうまく行きわたりません。潤いを保たせてください。

傷の縁は順調に治ってきてますか？

- 傷は縁から徐々に治っていくものです。治癒過程で出現する壊死物質、不良肉芽(無駄な皮膚の盛り上がり)が傷の治りを邪魔します。適宜除去をしたり処置を変更したり、日々のコントロールが必要です。

参考資料：Up To Date®・日本褥瘡学会・日本皮膚科学会・日本創傷治癒学会

私は上記の表を常に念頭において、治療に携わっています。

最後にこちらにもよく聞かれる事ですが、図にまとめてみました。

Q.キズパワーパッドってどうなんですか？

A.良いと思いますが、過信は禁物です

- 湿潤療法が簡便に出来るすぐれものです。従来の絆創膏よりも早い治癒につながります。ですが、絆創膏に比べてかぶれやすかったり、感染症を併発しやすいです。



ドレッシング材は基本的に水分を保持する作用を持つが、滲出液の吸収力が材型によってそれぞれ異なるため、滲出液の量に応じて選択することで創傷治癒に適切な湿潤環境を調整できる。また、滲出液の量以外にも、個々のドレッシング材の材型や形態などを十分に理解したうえで使用することをすすめる。不適切な使用は、感染を誘発したり、創傷治癒をかえって妨げることがあるので注意が必要である。

日本皮膚科学会：創傷・熱傷ガイドライン委員会報告より抜粋

ドレッシングの比較

	ガーゼドレッシング	閉塞性ドレッシング
利点	①安価、②材料が容易に入手可能、③外界から創が見えない、④物理的的刺激から守る、⑤実施が容易、⑥浸出液を吸収、⑦ある程度の保温が可能	①湿潤環境が作れる、②使用手技が容易、③酸素分圧を低下できる、④貼布したまま入浴できる、⑤デブリードマン効果、⑥疼痛緩和作用を有する
欠点	①湿潤環境が作れない、②創面に固着しやすい、③酸素分圧の低下なし	①創周囲皮膚炎の可能性、②高価
適応	感染のない一次縫合創、浅く小さな切創	褥瘡、熱傷、下腿潰瘍、擦過傷などで感染が軽微
非適応	上記以外すべて不適応「乾燥させれば早く治癒する」という誤解による	重篤な感染を併発した創

左：
ガーゼとドレッシング材との比較

右：
ドレッシング材の種類(これらを症状に応じて使い分けます)

表7 滲出液の量とドレッシング材の選択

滲出液	適するドレッシング材
普通～少ない	ポリウレタンフィルム ハイドロコロイド
少ない(乾燥した壊死組織あり)	ハイドロジェル
多い	アルギン酸塩 キチン ハイドロファイバー® ハイドロポリマー ポリウレタンフォーム

参考資料：Johnson & Johnson・日本皮膚科学会・日本創傷治癒学会

ちょっと海外のデータを引っ張ってきたりの専門的な内容になってしまいましたが、私はそれだけやけどの治療にはこだわりがあり、少しでもきれいに早く治してあげられる自信があります。やけどをしたら是非とも三和皮フ科を受診してください。その「やけど」きれいに治させていただきます。



冬も本番！

スタッフみんなで
鍋パーティーをしました★



医院：各務原市那加桜町 2 - 368

Tel 383 - 6800

自宅：各務原市三井北町 1 - 171

Tel 382 - 1437

三和皮フ科HP：<http://miwahifuka.org/>